

NPO  
こどもすぺーす柏

ニュースレター

Vol.60 2015.4.1

《発行者》

特定非営利活動法人  
NPO こどもすぺーす柏  
〒277-0081  
柏市富里 2-3-26 青木建設隣  
Tel/Fax 04-7169-8451  
http://kodomospace.sblo.jp/  
Mail info@kodomospace.org

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。

改装された柏市民文化会館大ホールでクラシックバレエの名作を

## 東京シティ・バレエ団 「ジゼル」 -全2幕-



2015年6月14日(日) 17:00開演

連載 明橋先生の  
子育てハッピーコラム⑥  
(3面)

「甘えない人が自立するのでなく、甘えていいときに、じゅうぶん甘えた人が自立するのです」



みなさん、プロによるバレエ公演を観たことはありますか。

NPO こどもすぺーす柏では、気軽にバレエに親しんでいただくことを目的に柏市民文化会館でバレエ公演を開催してまいりました。2008年に「 Coppélia 」を。その後「白鳥の湖」「くるみ割り人形」再び「Coppélia」とお届けし、毎回、たくさんの感動の声を頂いてきました。

今回は是非やってほしいと要望が多かった「ジゼル」をお届けします。

東京シティ・バレエ団の「ジゼル」はその物語と人物像の掘り下げ、表現に大変高い評価を得ており、「ジゼル」をこれまで何度も観ているという方にも新たな感動を覚えていただけるものと思います。また、「ジゼル」は物語性が高く、初めてバレエを観る方にお薦めしたい作品です。

言葉を持たないバレエが何故これほどまでに雄弁なのか、是非体感してください。

### 美しいものを美しいと感じる心を

私どもは会の発足以来、子どもたちに“優れた生の舞台”をお届け続けています。想像する力、共感する力。生の舞台は心を育てます。人生を彩り、豊かにします。

チラシ作りから当日の運営まで、全てボランティアで行うことにより、低料金でのお届けを可能にしています。ひとりでも多くの方にこの素晴らしい芸術に出会ってほしいと願っています。



### 寄稿 「ジゼル」について

金井利久 東京シティ・バレエ団理事

「ジゼル」演出・振付

6月に上演します「ジゼル」はクラシックバレエの名作と言われているバレエです。

この物語の舞台は、中世のドイツ。ぶどう畑が連なる丘の谷間を縫って流れるライン川のほとりに母親と二人で暮らしている美しい村娘ジゼルが主人公です。

ある日、ジゼルは村ではあまり見かけない素敵な青年ロイスと恋に落ちます。

しかしロイスはアルブレヒトという名の貴族でした。身分違いと知ったジゼルは狂乱し、息絶えます。月明かりに照らされた夜の森。ウィリ(結婚前に命を落とした娘の死霊)たちがさまよう中、失意と後悔に打ちのめされたアルブレヒトは、ジゼルの墓を訪れます。



「ジゼル」1幕より

この世を去ってからもアルブレヒトを想うジゼルは、死の世界に引きこもうとするウィリ達から彼を守ります。夜明けと共に2人の愛は本物となり、ジゼルの魂は天に召されます。

この作品の素晴らしさは、第1幕の劇的な展開から第2幕の静寂な幽玄の世界への移行にあります。

私は、当初初演時（1969年）ジゼルに想いを寄せる森番ヒラリオンを演じ、2002年からは演出・振付を手掛けています。演出上で特に意識している事は、1幕と2幕の差をくっきりつける事です。1幕は形を揃えるよりも1人ひとりが生き生きとするよう、登場人物の設定を細かく考え、物語が自然に繋がるような演出をしています。2幕は反対にビシッと列を揃える事で人間味のない冷たい世界を表します。1幕と2幕の対比が大きいほど、ジゼルやアルブレヒトたちの細やかなドラマが浮き上がってくるのです。

ジゼルとアルブレヒトは生と死の世界に離ればなれになりますが、悲劇ではありません。ジゼルは、自分を想い続けるアルブレヒトを許し、ウィリ達から守る事で彼への愛が深まっていきます。お互いの幼かった恋が本物の愛となった時、ジゼルは天に召され、ジゼルが残した一輪の花でアルブレヒトはジゼルへの本当の愛を確信します。時空を超えた愛の力がお互いを救う、究極の愛の物語なのかもしれません。

今、私たちは皆様と劇場でお会いできる日を楽しみにリハーサルを進めています。不朽の名作である「ジゼル」をどうぞお楽しみに。

「ジゼル」(東京シティ・バレエ団)  
6/14(日) 17:00 柏市民文化会館大ホール  
A席 4,000円 B席 3,000円 C席 1,500円

## 「バレエ音楽とバレエのひとつとき」

4月19日(日) 旧吉田家歴史公園

①13:00～ ②14:45～

私たちは、バレエ公演を行うために実行委員会を立ち上げ活動しています。メンバーには、こどもすぺーすの会員以外の方もいらっしゃいます。今回は、その一般参加の実行委員Tさんに「バレエ音楽とバレエのひとつとき」について書いていただきました。

柏市花野井にある、旧吉田家住宅歴史公園をご存知でしょうか。国の重要文化財にも指定されている江戸時代末期に牧士を務めた豪農吉田家の敷地を整備し平成16年に柏市に寄贈されたものです。重厚なつくりの主屋・格調の高い書院、庭園、雑木林があり、市民でなくとも一見の価値があります。

その吉田家の土間が、バレエの空間に変わります！

東京シティバレエ団のソリストによる魅惑的なバレエと、音楽通心ネットワークによる心震わせる音楽が、春の日の午後のひとつときを夢幻のように演出します。

Vol.4とありますように、実はこのイベントは4回目です。

土間でバレエを観よう、というこの発想。

不思議ですね。(こどもすぺーすは、時々こういう不思議な発想をするみたいです。こどもたちの生活を豊かに、という団体ですが、大人向けのスタンダップコメディの名手・松元ヒロさんと呼んでアミュゼ柏で公演してもらったり。)

当日は、バレエ音楽に合わせて、白鳥の湖や、くるみ割り人形、そして、「ジゼル」(4面へ)



過去のステージから

今年度も、明橋先生にコラムをお願いすることになりました。

著書の「子育てハッピーアドバイス」シリーズ 15 作の中から、心温まるアドバイスをご紹介していきたいと思います。



## 明橋先生の

### 子育てハッピーコラム⑥

## 甘えない人が自立するのではなく、甘えていいときに、じゅうぶん甘えた人が自立するのです。

『子育てハッピーアドバイス』（1 万年堂出版発行）より



毎日の育児は大変ですよ。子どもはこちらの言うことを聞かないし、すぐに失敗するし、なかなか思い通りにいかないことばかりです。「早く大きくなって、自分のことは自分でできるようになってくれたらいいのに」と思ってしまいます。

子どもの心は、甘えと反抗を繰り返して、大きくなっていくといわれています。

大事なことは、あくまで甘えと自立の行ったり来たりは、子どものペースでなければならないということです。

実際は親も忙しいので、なかなかうまくいきません。

つつい子どものペースでなくて、大人の都合になっています。

やむをえない事情もありますが、本来は子どものペースで行ったり来たりできることが大事なのです。

自立の反対は甘えなので、「甘やかさないことが自立」と思われがちですが、自立のもとになるのは意欲です。

意欲のもとは、安心感です。

安心感はどこからくるかというと、じゅうぶん甘えからです。

そこからもらった安心感が土台になって、意欲が出て、自立に向かうのです。

甘えない人が自立するのではなく、甘えていいときに、じゅうぶん甘えた人が自立するのです。逆じゃないかと思われる人があるかもしれませんが、私たちが自立につまずく子どもをいろいろ見ていると、どこかで、小さいとき、甘えていいときに甘えられなかった、ということが多いのです。

小学生まではじゅうぶん甘えていい時期です。甘えていいときに、しっかり甘えた子がしっかり自立するのです。

※「子育てハッピーアドバイス」シリーズは、子育てに不安や悩みを持つ親に向けて、イラストとマンガでやさしく解説した育児書です。最新刊は『子育てハッピーアドバイス 笑顔いっぱい 食育の巻』。

#### ■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長、児童相談所嘱託医、スクールカウンセラー。著書『なぜ生きる』（共著）『輝ける子』『子育てハッピーアドバイス』ほか多数。子どもの権利条約に基づき、子ども支援の様々な活動・啓発を行う NPO「子どもの権利支援センターぱれっと」理事長としても活躍なさっています。



●子どものペース



●大人の都合

(2面より)などの有名な作品の一部が披露されます。お客様にはそれを畳の上から観賞して頂きます。洋と和が交じり合う不可思議な時と間が生まれるでしょう。

そんなひとときを、ぜひ私たちと一緒に！

(T)

## ステップアップ 1年間を終えて

柏市教育委員会は、平日午後の自主学習の時間「ステップアップ」を希望者に実施しています。こどもすぺーすは柏第三小学校でスタッフ協力をしています。3年生の希望者が毎週金曜日、放課後の1時間、宿題や自分で用意した教材に取り組みました。1年の最後には手製の修了証を一人ひとりに渡しました。スタッフに1年間の感想を書いてもらいました。



修了証を手渡す

放課後、週に1回、小学生の宿題や自己学習の見守り。子ども達が、勉強に意欲的に取

り組んでいました。自己学習の習慣付けや、苦手教科の補強など、1年間の積み重ねは、大きな力になっていると思います。また、スタッフと子ども達が、楽しく交流しながら、続けられました。

勉強は、夢を叶えたり、未来を切り開いたりする力になっていくと思います。少しでも、子ども達の勉強の手助けができて、うれしいです。これからも、しっかり勉強してほしいです。また、普段はなかなか小学生とふれあう機会は無いため、スタッフとして交流できて、良かったと思います。ステップアップは、子ども達の放課後を地域で支える良い機会だと思いました。(Y)

## 外あそびに協力

3月15日(日) 永楽台児童センター

今年も「まるごとあそびば3days」で日曜日の外あそびコーナーを担当しました。毎回「しっぽ取り」と「チャンバラごっこ」を行いますが、何度やっても盛り上がります。「あそびの本気」に子どもも大人もありません。

【その1】赤ちゃんをパパとママとで交代してみながらあそびに参加するファミリー。上着を脱ぎ捨て、遊びに参加するママ、カッコイイ！

【その2】リピーターの男の子たちはチャンバラの刀作りから工夫を凝らす。巻きすぎてガムテープが足りなくなりそう、と思ったら午後「家から持ってきた！」と走ってきた子も。

【その3】ボランティアで手伝ってくれた保育士志望のAくん。見ているこっちが大丈夫かと思うほど素早く動き、その周りには男の子たちが集まってくる。やっぱり「おにいさん」がいると、いいね。

**デイキャンプ** 4月26日(日) 9:30~16:00

手賀の丘公園キャンプ場

ご飯を子どもと一緒に作ったり、一日中外で子ども・大人の区別なく思いっきり遊んだりします。毎回好評のため、昨年参加申し込みを抽選で行うことにしました。受付4月6・7日。(定員に達しなかった場合、その後も電話で申し込みを受け付けます。6面に小さいチラシがあります)

夏には、皆でバスに乗っていく2泊3日のキャンプもあります。詳しいお問い合わせは事務所まで。



しっぽ取り

# 理事長の徒然

井野口典子

私の母は俳句を趣味とし、六十九歳で亡くなるまでにたくさん句を残しました。

「兄となる 子に持たせけり 風花火」

これは最も私の想い出に残る句です。

私の息子が三歳半のときに作ってくれた句で、妹が生まれ、母親と初めて別れて過ぐす孫の寂しい気持ちを少しでも埋めてあげようと、風間なのに花火をしました、という意味です。

先日、姉となる孫を預かっている友人にこの句を伝えると、友人も涙ぐんでいました。

小さな子どもでも心は既に複雑で、哀愁に満ちています。母を助きたい。でも甘えたい。

おりこうにしたいのに、わがままも言ってしまうし、泣いてしまう。

子どもを尊重できる大人でありたいと思います。

母は日常の何気ないひとこまを切り取り句にすることが多かったように思います。生活の中に季節を感じ、何かに感動し。

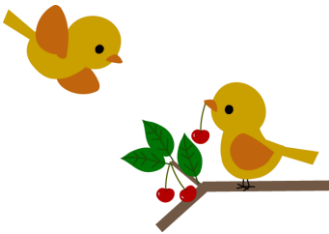
もうひとつ、私が大切にしている母の句は

「子の役は 鼠其の一 聖夜劇」

兄に恵と名前を付けてもらった娘は、その後バレエを習い始め、初めて公演に出たときの

役が「くるみ割りの人形」の鼠の兵隊。小さいながらも懸命に踊る姿に母は何を感じたのでしょうか。

風花火を持った子も、鼠其の一だった子も、今では父になり母になりました。子どもの心の機微を受け止めることができる親であり続けてほしいと願っています。



## Cha Cha Cha

年度変わり、進学、進級で子ども達も慌ただしい。二月になると体調管理も大変。風邪やインフルエンザも流行りはじめる。六年生を送る会から卒業式の練習と、授業以外に覚えなさいといけないことや、合同練習が多くなるから。

伴奏や合奏での役割を担った子は、決まってレッスンに持ってきて、学校で使うその曲のレッスンになってしまふ。

適当に手を上げたらバスパートを弾くことになった五年生Y太。今更ながら後悔しつつ懸命の練習。無事本番は終わったみたい、よかった。Y太は頑張ることを嫌がる。カッコ悪いと思っているようだ。すぐに、「面倒くさい」を連発する。

楽譜を読むのも面倒くさい、練習するのも面倒くさい。パソコン前に一日中座っていたいという。

外で遊ばなくちゃ → 面倒くさい  
友達とは？ → 面倒くさい

遊びに出かけるのが面倒くさいから遊ばない、だから友達もたくさんいらなさい、と言っ。

一見ヤンチャ坊主に見えるけど、聞いてみるとわからないものだ。夏の発表会に向けて、曲決めは、ボーカロイド。

私はよく分からないけれど、大好きな曲があるところで、パソコンで聞いてみるっ。

春休みには、テーマパークに行くのを楽しみにしている。

私は、そっちの方が面倒くさい…。

《こどもすぱーす これからの予定》

4月						
月	火	水	木	金	土	日
		1 イオンおはなし会 子育て支援部	2	3 リハーサル	4	5
6 鑑賞部会	7	8 理事会	9	10	11	12
13	14	15 リハーサル	16 ポレポレ	17	18	19 バレエ音楽とバレエのひととき
20 バレエ実会	21	22	23	24 理事会	25	26 デイキャンプ
27	28 監査	29 昭和の日	30			



生と死、二つの世界を一筋に貫くジゼルの愛  
新装文化会館で全幕もののバレエを

### デイキャンプ

日 時：2015年 4月26日(日)  
9:30~16:00 (9:00より受付開始)

場 所：手賀の丘公園キャンプ場

集 合：どんぐりの園前で受付します(裏園参集)

参加費：一般 小学生以上 900円・幼児(3才以上) 700円  
：会員 小学生以上 700円・幼児(3才以上) 500円  
(同参加の方、及び小学3年生までは保護者同乗)

定 員：50名

申込期：4月10日(金)~4月17日(木)の2日間に、電話、FAX、メールでもお申し込みください。(電話受付 9時~16時)

定員を超過した場合は、電話・グループ単位で増減をさせていただきます。  
結果は早急に案内いたします。  
定員に達しない場合は、その後も電話のみで受け付けます。

お支払：4月24日以降、一般700円・会員500円

**雨天決行・荒天中止**  
(707号 <http://kodomospace.sblo.jp> でのお問い合わせ)  
当日お問合わせ先 080-3488-1969 (斉藤)

9:00 受付  
9:30 受付開始・食事・片付け  
10:00 出発  
12:00 昼の食  
14:00 帰途

\*持ち物  
帽子・靴(雨天用シューズ1足・点検済・雨具・雨合羽・タオル・飲み水・お菓子・お水等

\*主催・お問合わせ・申込先  
(特) NPO こどもすぱーす社  
TEL/FAX: 04-7169-8451  
〒277-0081 船市富里2-9-26  
<http://kodomospace.sblo.jp/>  
[info@kodomospace.org](mailto:info@kodomospace.org)

参加費 小学生以上 900円  
幼児 700円  
詳しくはお問い合わせください。

5月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10 市民活動フェスタ
11 鑑賞部会	12	13 子育て支援部会	14 理事会	15	16	17 ステップアップ研修会
18 バレエ実会	19	20	21 ポレポレ	22	23	24
25 理事会	26	27	28	29	30	31 総会・部長会
は事務所は開いていません						

皆様のご厚意はすべて子ども達の未来のために使われます。

会員募集	賛助会員募集
一緒に子どもたちのことを考えましょう。	会の趣旨に賛同してくださる方を募集しています。
入会金 正会員 1000円/世帯	賛助金 個人 年 3000円/口
会費 正会員 1500円/月	法人 年 10000円/口
家族会員 500円/年	鑑賞会に年1回ご招待、
ユース会員 500円/年	ニュースレターなどお送りします。
ほかに年100円の保険料がかかります。	

振込先：郵便振替 00160-3-684258

記載されているすべてのイベント・内容については、事務所までお問い合わせ・お申込みください。  
または会のブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> をご覧ください。